

「大雨対策に関するアンケート」のお願い

日ごろから市政運営につきまして、ご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

安城市では、東海豪雨や平成 20 年 8 月末豪雨による浸水被害の経験を踏まえ、平成 23 年 3 月に「安城市雨水マスタープラン」を策定し、市民・事業者・行政が協力して様々な大雨対策に取り組んできました。当時のプランは令和 3 年 3 月までの計画ですが、その後も市民・事業者とともに“より水害に強いまちづくり”を目指すため、第 2 次安城市雨水マスタープランの策定を予定しています。

このアンケートは、第 2 次安城市雨水マスタープランの策定にあたり、大雨対策に関する市民の皆様のお考えをお伺いし、施策を検討する上での基礎資料として活用させていただくものです。

ご多用のところ誠に恐縮ですが、このアンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

アンケートについて

- 1 このアンケートは、平成 31 年 4 月 1 日現在で 18 歳以上の市民の中から 2,000 人の方を無作為に抽出させていただきました。
- 2 アンケートは封筒のあて名のご本人またはご家族の方がご記入ください。
アンケートに氏名を記入する必要はありません。
- 3 アンケートご記入前に、裏面から始まる「アンケート調査に関する説明資料」をお読みください。
- 4 ご回答の方法は、各設問の説明にしたがってください。
- 5 アンケートは統計的に集計し、この目的以外に利用することはありませんので、お考えになっていることや、お感じになっていることを、ありのままご回答ください。
集計結果につきましては、ホームページなどで発表させていただきます。
- 6 ご記入いただいたアンケートは
10月21日(月)
までに同封の返信用封筒(切手不要)にてご返送ください。
- 7 アンケートに対するご不明な点・ご質問などがありましたら、下記のお問合せ先までお尋ねください。
(お問い合わせ先) 安城市建設部土木課河川係
TEL : 0566-76-1111(代表)
0566-71-2239(直通)
FAX : 0566-77-0010

アンケートご記入前に必ずお読みください

アンケート調査に関する説明資料

1. 増え続ける局地的豪雨

近年、雨の降り方が変化し、局地的豪雨によって全国各地で浸水被害が相次いでいます。1時間に50ミリ以上の雨が降る回数は、約30年前と比較して1.4倍に増えており(図1) 平成30年7月豪雨(西日本豪雨)は記憶に新しいところです(写真1)。

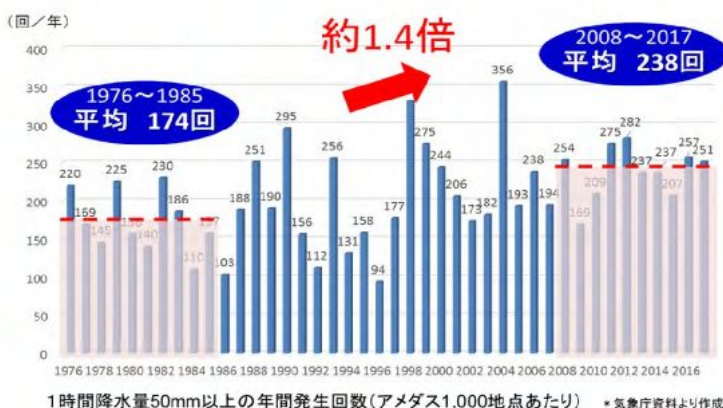


図1 1時間降水量50ミリ以上の年間発生回数

写真1 西日本豪雨の被害状況(国土交通省資料より抜粋)

1時間に50ミリ以上の降雨とは?

滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。屋内で寝ている人の半数くらいが気づくほどの激しい雨で、多くの災害が発生します。

安城市では、近年、平成20年8月末豪雨を超える大雨や浸水被害は発生していませんが(図2) いつ大雨が降ってくるかわかりません。我々人間の想定以上の大雨が降る可能性もありますので、浸水被害が発生するリスクに目を向け、日ごろの備えや、様々な大雨対策を展開していく必要があります。

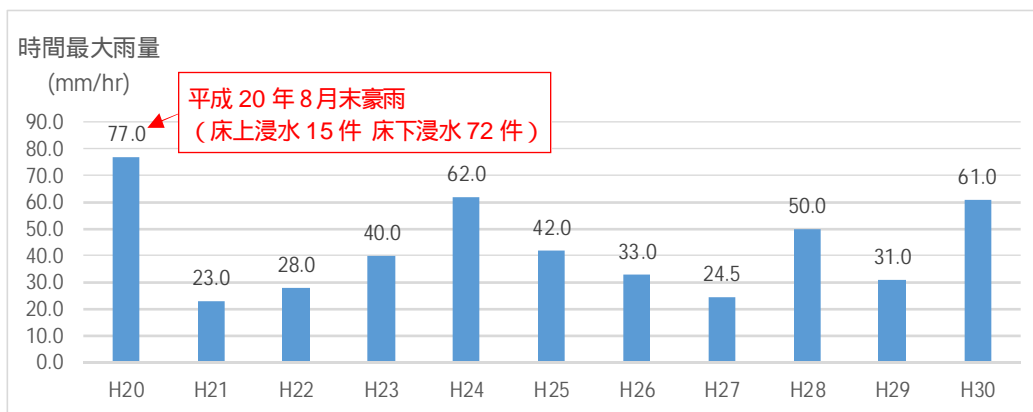


図2 安城市内における近年の時間最大雨量

2. 安城市が取り組んできた大雨対策

安城市では、平成23年3月に「安城市雨水マスタープラン」を策定以降、様々な大雨対策に取り組んできました。その一部をご紹介します。

河川・排水路の整備

- ・河川の改修などを行い、排水能力を高めています。

改修前



改修後



河川・排水路の維持管理

- ・河川や排水路に堆積した土砂の除去などを行い、排水能力を維持させています。

土砂除去前



土砂除去後



- ・市民と協働し、河川や排水路の維持管理活動を行っています。

市民による河川の草刈



市民による河川敷でのイベント（コスモス祭り）



雨水浸透施設の整備

- ・雨水が地中にしみ込む施設を整備しています。



行政による雨水調整池の整備

- ・河川や排水路が増水したとき、一定量以上を下流に流さないようにするため、意図的に雨水を調整池に溢れさせ、溢れた雨水を一時的に貯め込んでいます。

公園の地下に整備した雨水調整池



水田が元来有する雨水を貯める機能を活かした水田貯留の推進

- ・地権者と耕作者にご協力いただき、田んぼや排水路に調整マスを設置することで、より多くの雨水を水田に貯留しています。



市民による雨水貯留槽の設置

- ・雨水タンクの設置に補助をしています。



防災イベントの開催

- ・地域の防災意識を高めるため、市民参加型のイベントを開催しています。



防災情報の提供

雨量情報

水位情報

道路冠水情報

カメラ画像

観測局位置図

データ時刻：2019年08月07日 18時42分

アイコン凡例

河川水位

- ▲ 危険水位
- ▲ 警戒水位
- ▲ 注意水位
- ▲ 平常水位
- ▲ データなし
- ▲ 上昇 ▼ 下降 ▶ 変化なし

道路冠水計

- 道路冠水危険
- 道路冠水発生
- 感知開始水位
- 冠水なし
- データなし

雨量計

- 13.0mm以上
- 8.0mm以上13.0mm未満
- 5.0mm以上 8.0mm未満
- 3.0mm以上 5.0mm未満
- 2.0mm以上 3.0mm未満
- 2.0mm未満
- データなし

Webカメラ

- Webカメラ

以下、3点に注意してご利用ください。

※ 観測値は以下が表示されます。

- 河川水位：1分毎の水位
- 冠水水位：1分毎の水位
- 雨量：10分毎の雨量

安城市では河川水位観測システムを運用しており、市民の方が市内の降雨量、河川水位、道路冠水の情報を確認することができます。

河川水位観測システムのアクセス方法

QRコード

安城市 河川水位

で検索!!

表示内容を更新する場合は以下をクリックしてください。

画面を更新する

カメラ画像(全カメラ) 平常時の夜間は、節電のため見えにくくなっています。

神田支川(柿崎町)加1
2019年08月07日 18時50分頃

神田支川(柿崎町)加2
2019年08月07日 18時50分頃

追田雨水幹線(城南町)加1
2019年08月07日 18時50分頃

雨水貯留浸透施設設置補助事業

安城市雨水貯留浸透施設設置補助事業のご案内

雨水を貯めたり、しみ込ませる施設の 設置に補助をします。



雨水を貯める施設

雨水を、一時的に貯めておく施設で雨水タンクや既存浄化槽を転用した雨水貯留槽などがあります。

雨水をしみ込ませる施設

雨水を効率よく、地中にしみ込ませる施設で浸透管や浸透マスなどがあります。

補助金額一覧

施設名	条件	補助率	補助金額	窓口	備考
市販雨水貯留槽 (雨水タンク)	100ℓ以上200ℓ未満	工事費の1/2	1基当たり限度額 18,000円	土木課	2基まで補助 ができます。
	200ℓ以上	工事費の1/2	1基当たり限度額 25,000円		
浸透マス	詳しい条件は安城市の ホームページを ごらんください。	工事費の1/2	1基当たり限度額 9,000円	土木課	
浸透管		工事費の1/2	1m当たり限度額 3,000円		
浸透料溝		工事費の1/2	1m当たり限度額 8,000円		
透水性舗装		工事費の1/2	1㎡当たり限度額 500円		
既存浄化槽転用 雨水貯留槽	3㎡未満	工事費の2/3	1基当たり限度額 75,000円	下水道課	
	3㎡以上10㎡未満	工事費の2/3	1基当たり限度額 100,000円		
	10㎡以上	工事費の2/3	1基当たり限度額 150,000円		

※補助金の申請額は1,000円未満が切り捨てとなります。
※複数の施設を組み合わせた場合の上限は最大15万円です。

手続きの流れ



【問い合わせ先】

安城市 建設部 土木課 TEL 0566-71-2239
上下水道部 下水道課 TEL 0566-71-2258

ホームページ [安城市雨水貯留浸透施設設置補助事業](#)

検索

【今後の大雨対策に関する意向について】

問 12 安城市では、これまで大雨対策として様々な施策を進めてまいりました。水害に強いまちづくりを目指して、特に今後も推進すべきと考えられる施策をお答えください。該当する番号に 5 つ を付けてください。

- 1 河川・排水路の整備
- 2 河川・排水路の維持管理
- 3 雨水浸透施設の整備
- 4 緑地や農地（雨水が浸み込む土地）の保全や市街地における新たな緑化の推進
- 5 行政による雨水調整池の整備
- 6 民間事業者による雨水貯留施設の設置
- 7 水田が元来有する雨水を貯める機能を活かした水田貯留の推進
- 8 市民による雨水貯留槽の設置
- 9 行政が市民に向けて発信する防災情報の伝達手段の整備
- 10 防災情報の充実
- 11 防災イベントの開催
- 12 自主防災組織の強化

問 13 大雨対策について、ご意見、ご要望があればご自由にお書きください。

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。
この用紙のみを返信用封筒に入れて 10月21日(月)までに投函してください。

大雨対策に関するアンケート調査票

(ご記入上のお願い)

- ・アンケートは**あて先に記載されたご本人もしくはご家族の方**がお答えいただくようお願いいたします。
- ・このアンケートは**無記名式**です。お名前、ご住所を記入いただく必要はございませんが、アンケート結果はご回答いただいた方のお住まいの地域ごとに集計させていただきますので、ご了承ください。
- ・黒のボールペンや濃い鉛筆などで**ハッキリとご記入**ください。

【回答者の属性について】

問 1 性別を教えてください。 該当する番号に を付けてください。

- 1 男性 2 女性

問 2 年齢を教えてください。 該当する番号に を付けてください。

- 1 10代 2 20代 3 30代 4 40代
- 5 50代 6 60代 7 70代以上

問 3 安城市には何年お住まいですか？ 該当する番号に を付けてください。

- 1 1年未満 3 5年以上 10年未満 5 20年以上
- 2 1年以上 5年未満 4 10年以上 20年未満

問 4 過去に大雨による影響を受けたことがありますか？（複数回答可）
該当するすべての番号に を付けてください。

- 1 床上まで浸水した
- 2 床上までは浸水していないが家屋が水に浸かった
- 3 駐車場や庭が浸水した
- 4 道路が水に浸かって通行できなかった
- 5 電車が遅れて予定通り移動できなかった
- 6 水田・畑のあぜやのり面がくずれた
- 7 農作物が水に浸かった
- 8 仕入れ・物流がとまって事業に影響が生じた
- 9 客足が減り売り上げが落ちた
- 10 影響を受けたことがない
- 11 その他（) _____

【水害に対する防災の意識について】

問5 安城市では、大雨の時に想定される浸水の範囲や深さ、避難所などを表示した洪水ハザードマップを平成24年3月に全戸配布し、現在は危機管理課や土木課の窓口で無料配布したり、市のホームページで公開していますが、洪水ハザードマップの活用状況を教えてください。
該当する番号に を付けてください。

- 1 避難行動に役立っている、役立てようとしている
- 2 手元にあるが、活用していない
- 3 洪水ハザードマップの存在は知っているが、手元にない
- 4 洪水ハザードマップの存在を知らない

問6 防災対策には、自助（自分自身の命は自分で守る）、共助（地域コミュニティで助け合う）、公助（役所など公的機関が守る）という考え方があります。防災対策ではどれが一番大事だと思いますか？ 該当する番号に を付けてください。

- 1 自助に重点を置いた対策
- 2 共助に重点を置いた対策
- 3 公助に重点を置いた対策
- 4 バランスが取れた対策
- 5 知らない、わからない

【防災情報の提供に関する要望について】

問7 現在、安城市では、河川水位観測システムを運用しており、市民の方が市内の降雨量、河川水位、道路冠水の情報を確認することができます。これ以外に提供してほしい防災情報があればご自由にお書きください。

河川水位観測システムのアクセス方法は、説明資料の6ページ目をご参照ください。

[]

【雨水貯浸透施設の設置に関する意向について】

問8～問11は持ち家の方のみお答えください。
ご家族が居られる方はご家族と相談してご記入ください。

問8 安城市では、雨水を貯め込む「雨水貯留槽」や雨水を地中にしみ込ませる「浸透マス」などを設置される方に補助金をお支払いしています。ご存知でしたか？ 該当する番号に を付けてください。

- 1 補助金の制度を知っていた
- 2 補助金の制度を知らなかった
- 3 そもそも「雨水貯留槽」や「浸透マス」の存在を知らなかった

問9 「雨水貯留槽」で貯めた雨水は、庭のまき水などに利用でき、洪水の抑制や水資源の有効利用にもつながります。「雨水貯留槽」を設置する意向はありますか？ 該当する番号に を付けてください。

- 1 設置済み
- 2 設置したい
- 3 設置を検討したい
- 4 設置するつもりはない

問10 「浸透マス」は、雨水を地中にしみ込ませ、洪水の抑制や地下水の保全に効果があります。「浸透マス」を設置する意向はありますか？
該当する番号に を付けてください。

- 1 設置済み
- 2 設置したい
- 3 設置を検討したい
- 4 設置するつもりはない

問11 「雨水貯留槽」や「浸透マス」などの設置に対する補助金の制度についてご意見をお聞かせください。
該当するすべての番号に を付けてください。

- 1 補助金額が少ない
- 2 補助金額が今よりも多ければ設置したい、設置を検討したい
- 3 手続きがわかりにくい
- 4 手続きが面倒
- 5 手続きが簡単ならば設置したい、設置を検討したい
- 6 雨水タンクは2基までしか補助金をもらえないので3基目の設置が拒まれる
- 7 補助金の制度を活用する意向はない
- 8 その他（)